

日精会たより

古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 田中一男
編集責任者 大門陽利

会員状況
11月現在
122名

謹賀新年

2023年
令和5年
みずのとう
癸卯



写真提供：玄梅正明

明けましておめでとございます

日精会 会長 田中一男



会員各位におかれましては、穏やかな新春を迎えられた事とご推察致し心からお慶び申し上げます。加えて日頃より日精会に対しご指導頂いております事に心から感謝申し上げます。

昨年もコロナウィルスが猛威を振るう一年となりました。その様な過酷な状況に有っても、会員各位のご尽力によって、最小限の活動を最大限活用し、目的である相互の親睦交流と、高齢者の生活向上と安定をめざす事ができました。

選挙活動においては、高齢者の要望を政治に反映すべく栃木県退職者連合並びに古河電工労組日光支部の方針にそって、参議院選挙と日光市議会議員選挙を取り組みました。おかげさまで「青田よしひと市議」の再選を果たすことができました。

そしてそれらの活動の原動力になったのが、会員宅に配布される「日精会たより」発行の広報活動であったかと思えます。

この様に年間を通して活動を行えたのも、会員各位の連帯と相互信頼から生まれたものと確信しております。

本年は日精会が結成50周年を迎えます。諸先輩への敬意と会員各位の感謝を含め、日精会の益々の発展を目的に記念行事をコロナ禍の状況を考慮のうえ企画しております。

今後も、反省と進化を繰り返す、目的にそって活動を進めてまいりますので、変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。



本部の動向

- ◎ 役員会議 10月13日・11月24日
- ◎ 県退連 幹事会 9月26日・11月14日 長尾
- ◎ 50周年準備委員会 定期総会 10月26日 田中・大門・長尾
- ◎ 6月3日・6月30日
- ◎ 9月8日・11月24日

わらくい

日精会は50周年を迎える。古河OBの相互の親睦を目的とし、会員は約五百七十人で発足。機関紙の発行や部活動、旅行会等を行い地域のリーダー会員は減少したが、これからも「絆」と共に発展するだろう▼今年も元気に新年を迎えられ幸せな気持ちだが、高齢者には受難の年になりそうだ▼年金は「マクロ経済スライド」により0.4%の収入減、そこにエネルギー価格や生活物価が約3%の高騰で年間8万円の出費増の推計も出ている▼今年更なる生活用品の値上げと社会保険料の負担増の検討が進む◇介護保険制度は3年に一度の見直しがあり、保険料増大と給付カットされる。後期高齢者医療保険の負担見直しもある▼生活費は年金と貯蓄でやっとなこと。政府が行う旅行支援制度にも参加もできず、先行き不安で一杯である▼発表された総合経済対策は企業への補助であり光熱費の間接値下げである、4月には電気代が再値上げの予定で获得感は全くない▼先の見えないコロナ感染症、ロシアのウクライナ侵略の中、政府には早急に物価高騰対策等に本腰で取り組み生活基盤にの安定化を進めて欲しい。

(M・S)

栃木県退職者連合

会長 有野一良



明けましておめでとうございます。長引くコロナ禍のため、県退連は感染状況に応じた内容の変更を余儀なくされ、日本退職者連合でも同様でしたが徐々に対面による運営に移行しています。

この冬は、感染再拡大や、インフルエンザとの同時流行も懸念されています。自らの健康を守り有意義な年にしましょう。

さて、急速に進む高齢者社会の中で、生活の拠り所ある社会保障制度への将来不安が高まっており、全世代が理解し納得できる社会保障制度の早期確立が求められています。

一方エネルギー価格の高騰や円安に伴う物価高は、国民生活を直撃しています。ロシアによるウクライナ侵攻や、軍事的緊張の高まりから各国とも軍備増強の動きにあり、平和運動も重要となっています。

本年も、各構成組織間の連携強化を図りながら諸活動を進めて参ります。

結びに、本年、50周年を迎える日精会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

古河電工労組 日光支部

執行委員長 斎藤大輔

明けましておめでとうございます。

健康で輝かしい新年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より田中会長をはじめ皆様方には、深いご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本年は日精会結成50周年を迎えると同っております。諸先輩方のこれまでのご努力に対し、心より敬意を表します。

私たちを取り巻く環境は、コロナ対応をはじめ、不確実性の増す経済情勢、物価高の影響等、先行き不透明な状況が続く中、当支部においては、10月に定期大会にて審議決定した方針に沿い、新体制のもと活動をスタートしました。

課題は山積しておりますが、地域や働くものの為に精一杯取り組むと共に、昨年の日光市議選において絶大なご支援を頂いた青田よしひとを中心とした各級議員と連携を密にし、政策・制度要求実現に向け取り組んで参ります。

結びに、日精会の益々のご発展と会員各位のご健勝を心から祈念申し上げます。

古河電気工業株式会社 日光事業所

所長 高松一弘



新年おめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

月の「うさぎ」の由来

今昔物語集には「三獸行菩薩道免焼身語」として次のような物語がおさめられています。

今は昔、天竺(インド)でうさぎ、キツネ、サルが一緒に暮らしていました。3匹は菩薩の道を行こうと毎日修行し、お互いを実の親や兄弟のように敬い合っていました。



そんな3匹の様子を見ていた帝釈天という神様がその行いに感心し、本当に仏の心を持っているのか試そうと考えました。

そこで帝釈天は、老人に変身して3匹のもとを訪ね、「貧しく身寄りもない自分を養ってほしい」といいます。3匹はその申し出を快く受け入れ、老人のために食べ物を探します。サルは木の実や果物を、キツネは魚をとってきました。

ところが、うさぎは山の中を懸命に探しても老人が食べるものを見つけないことができません。うさぎは「野山は危険

さて、世界経済は新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響によるサプライチェーンの乱れなど、外部環境は大変激しく変化しており、先が見えないエネルギー原材料価格の上昇、為替の円安進行、コロナ禍による行動制限など、経済環境はまだまだ厳しいものがあり、早期に明るい活気のある社会と経済の回復を願っております。

私も日光事業所は、「素材の力で皆様の暮らしを豊かに快適に！」をスローガンに、日精会の皆様はじめ諸先輩方が築いてこられた技術と伝統により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献して参りますので、皆様には引き続きのご指導とご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

結びに、日精会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



がいった。このままでは食べ物が見つからないばかりか、自分は人や獣に捕まり食べられてしまう」と考えます。そしてある日、「食事を探してくるので火をおこしてほしい」といいました。サルとキツネが火をおこすと、うさぎは自分自身を食べてもらおうと火の中へ飛び込み、死んでしまいました。

すると帝釈天は元の姿に戻り、うさぎの慈悲深い行動をすべての生き物に見せるため、その姿を月の中に映しました。

今も月の中にいるのはこのうさぎで、月の表面の雲のようなものはうさぎが焼け死んだ煙だといわれています。(大門陽利 記)



皆既月食 2022.10.1



衆議院議員 福田あきお

あけましておめでとございます。日精会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

わが国は、過度な円安・資源高騰による物価高、多額の借金、30年前と変わらない賃金、止まらない少子化、労働力不足等、大至急対応しなければならぬ課題が山積しています。

日本の財政を立て直す為には、消費税・法人税・所得税の抜本改革が必要です。適切な金融政策、公平な税制・雇用制度を実現させ、確かな税財源を確保し積極財政で取り組めば、必ずや経済も財政も賃金も良くなる筈です。

令和5年は統一地方選挙の年です。地方議会に同志を増やし、日本の未来を立て直すために闘うべく皆様と連携して取り組んでいく所存です。今後とも力強いご支援をお願いいたします。

皆様のこの一年のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

日光市議会議員 青田よしひと



あけましておめでとございます。日精会のみなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、田中会長をはじめ、日頃からのご指導ご鞭撻を賜り感謝申し上げます。昨年は、いちご一会とちぎ国体が開催され、当市では軟式野球、ボクシング、フィールドホッケーの3競技が行われ熱戦が繰り広げられ明るい話題がありました。本年6月には「先進七ヶ国・男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」が開催されることが決定し歓迎ムードも高まり、おもてなしの心を持ちお

うさぎの雑学

2023年は干支では、卯(うさぎ)の年。兎は穏やかで、温厚な性質である事から家内安全、跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するとされている。



二荒山神社・良い縁うさぎ

今でも、ニワトリやウサギは家庭で飼われ目にする。子供頃は、童話の中で「かちかち山」「うさぎと亀」

- 「因幡の白兎」などを良く聞かされた身近な動物でもある。
- では、ウサギの生態はイメージと合っているのか気なる。
- ① 性欲の鬼。(野生のうさぎは天敵が多く、子孫を残すために必要)
 - ② 耳が大きい。(外敵から身を守る。体温調節。)
 - ③ ウンチを食べる。(栄養素や水分を取り込む)
 - ④ 縄張り意識が強く、個体で行動する事を好む。環境の変化に強く、生きる為の生活の知恵が備わっていることがわかる。

(斉藤正紀 記)

年男 今年の抱負

星野 寛 (安良沢支部)

迎えたいたともいいます。しかし財政面では厳しい状況が続いている中、物価高騰の影響もあり家計を苦しめている事も深刻な問題となっておりますが、市民のみなさまと向き合い問題解決に向け、ご期待に応えられるよう頑張つて参りますので本年もどうぞよろしくお願いいたします。

結びに日精会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます



想い出です。退職時は春の大雪とそれに続く雨により、鍛造工場が倒壊し、所員・協力会社社員総出で、復旧に勤めた事が、

入社は、オイルショックの影響で半月遅れでした。29名が、日光配属となり、着任すると寮に入り歓迎会を旅館で開催して頂き日光の芸者さんと飲ませて頂いた事が

長寿万歳



氏名(略敬称)	生年	月	年齢
小森 文雄	S 3	7	94歳
土橋 昭義	S 3	10	94歳
渡辺 治夫	S 4	2	93歳
高橋 正	S 6	2	91歳
鎌田 明	S 6	12	91歳
山崎勇一郎	S 7	2	90歳

令和5年元旦現在の88歳以上の会員

昨日の事のように思い出されます。こうした事は、枚挙すれば暇がありません。苦楽を共にさせて頂いた皆様の末永いご健勝、及び、日光事業所の存続と一層の繁栄を、お祈りするばかりです。

今年、癸卯年(みずのとう)で「これからの成長がみられる年」とも言われると、聞きました。現在、「コロナの影響もあり、外出は犬との散歩や、たまの小旅行位です。

今後の成長に繋がるかは不明ですが、体力相応のスポーツを始めたり、四大文明の発祥地巡り等、トライしたいと考えています。



いきいき部活

《ゴルフ部》

10月26日、日光市民ゴルフ場にて10名の参加者で大会を行なった。当日は、8名が後期高齢者であったが、唯一女性の参加が花を添え、和気あいあい楽しく無事に終了することが出来た。

しかし、部員の高齢化が進み活動を鈍くしている。

- 優勝 増淵和夫
- 準優勝 神山敏子
- 第三位 齋藤義雄



(部長 野原敏雄)

《囲碁部》

11月22日、自宅において4名が参加、総当たり戦での対局でした。少人数で寂しかったが和やかにひと時を過ごすことが出来ました。



(部長 星 防人)

《グラウンドゴルフ部》

10月12日、大谷川グリーンパークにおいて、20名の参加で楽しい日を過ごしました。

- 優勝 渡辺 隆 (大沢西)
- スコア 77
- 準優勝 岩本文夫 (安良沢)
- 第三位 根岸俊男 (安良沢)
- 敢闘賞 岩本京子 (安良沢)



(部長 児玉 進)



シリーズ「郷土のはなし」

関白流 平ヶ崎獅子舞

④ 伝統を受け継ぐ

獅子舞は農山村部の神社等の祭礼で、獅子の力から集落の厄除け・悪霊退散・悪疫などの侵入防止の祈願として五穀豊穡を願うために純粋に信仰行事として集落の境界部などで行われてきた。

平安時代から受け継がれた関白流と文挾流の2つの流派があり、21か所で獅子舞が「無形民俗文化財」に指定されている。

平ヶ崎は農村地帯でJR今市駅付近の鎌倉街道(日光山と鎌倉を結ぶ

古道)を中心に鉄道沿線西側に広がる古くからの町です。

この地域の獅子舞の起源は定かではないが、文献では(宝暦9年)平ヶ崎村の代表3名が日光奉行所に「獅子舞行事の再開を願い出た陳情書」を提出した記録が残っている。

獅子頭は3頭1組「1頭は雌獅子」「2頭は雄獅子」で雄獅子には角があり一頭は直角、もう一頭はねじれている。

踊り手は、頭に獅子頭を被り、腰に小太鼓を付け、両手にバチを持って、笛の音に合わせて太鼓を叩きながら舞う。烈しく舞う場面もあり大変な努力を使ったため若い人が主に担っている。

演目には、「鳥居くぐり」「おかざき」「獅子の鼻歌」「鈴とり」等がある。獅子舞の他に道化や棒使いの演目もある。

舞は例年、村社・両大神社の奉納舞(5月3日)と三町内厄払い(9月の第一日曜日)に実施される。また納涼祭等では、介護施設等で

も獅子舞を披露し好評を得ていますので、興味のある方はお出かけ下さい。

獅子舞は自治会の青年部の中に「獅子舞講中」「お囃子講中」を組織し活動している。

「舞の後継者」と「踊り伝承」には苦勞しており、絶えず若い男子を募集し伝承活動が途切れないように



自治会は心を配っている。

獅子舞の準備作業には町内の祭典委員があたり、数日前から厄除けを依頼された家庭に配る花を作る「花すき」作業等を行い、「コミュニケーション」の場にもなっている。当日は自治会役員や祭典委員等30名が出て獅子舞行事の裏方として世話をし、祭りを盛り上げている。

(齊藤正記 記)

GG大会に参加して

渡辺百合子 (大沢西)

スポーツはあまり得意ではないが、私も判断力がないまま人と一緒に



参加しました。日光連山を仰ぎながらのプレイは、気持ちよく健康増進に良い機会と次回を楽しみにしています。芝草など試行錯誤で、「ホー

リンワン」だとか「惜しかった」とか試合の経過に一喜一憂する様子からは、面白くもあり山の元気をいただきました。また、準備をして下さる役員の方々に感謝しつつ、皆様についていける間は参加したいと考えています。